

質 疑

発言者 太田 安由美

発 言 の 要 旨 (その1)

議案第110号 令和7年度高松市一般会計補正予算（第5号）について

(1) 塩江温泉郷観光振興事業費、債務負担行為3,850万円

① 債務負担行為の期間が2年にわたっている理由

② PPP／PFI手法を採用し、導入することのメリット

③ PPP／PFI手法を導入することで、どのように経費が圧縮できると考えているのか。

④ 経費の回収を前提とした、契約の可能性はあるのか。

(2) 美しいまちづくり推進費6,091万3,000円

① ライトアップ事業について、どのような方法で電源を調達し、省エネ化を推進していくのか。

② 本事業によって、どのような効果を期待しているのか。

③ ライトアップの実施時間帯

④ 夜間の常時ライトアップによる、年間の電気代の見込み

⑤ 現存の街路灯の扱い

⑥ 今回の事業と人流の誘導についての考え方

(3) 妊娠期からの子育て世代包括支援事業費2,843万3,000円

① 対象者に、どのように制度の周知をしているのか。

② 訪問型産後ケア事業導入の検討状況

議案第113号 令和7年度高松市競輪事業特別会計補正予算（第1号）について

(1) 本年度の車券発売収入の見込額300億2,200万円の算出根拠

(2) 高松競輪本場開催と借り上げ開催との1開催当たりの売上げに、差が生じたのか。

(3) 過去3か年の玉藻杯の売上実績と、今年度の売上見込み

(4) 場外車券売場借上費等に関し、発売方法ごとの今年度の委託料の見込額

(5) 場外車券売場借上費等に係る経費が、増加している要因

(6) 市債の発行状況

(7) 一般会計への繰出金について、減額した理由と、再度2億円を超える繰り出しは

発　　言　　の　　要　　旨 (その2)

可能なのか。

議案第137号 議決の変更について

- (1) カフェ側との協議経緯と、工事着手後に設計変更が生じた理由
- (2) カフェは最終的に、どのような設計になったのか。

議案第134号 高松市下水道条例の一部改正について

- (1) 福祉の観点から、何らかの減免措置を実施する考え
- (2) 段階的に引き上げる考え
- (3) 本市が管理する下水道マンホール蓋を、広告媒体として活用する考え